

# 令和7年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※提出された申請書の内容は、個人情報を除いて公開する場合がありますので、ご了承ください。

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	一般部門
------	------

※プルダウンから選んでください

## 【1】事前相談

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	中田明秀チーフコーディネーター
事前相談日	2025年①4月17日(木)16:00-17:00 (面談) / ②4月25日 (金) メールで確認 & 修正

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	金沢市危機管理課
事前相談日	2025年4月18日(金)15:00-16:00 (危機管理課：中谷課長・増永課長補佐 / 市民協働推進課：水野係長・朝井主事)

※複数回相談した場合、全てご記入ください

## 【2】応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。(プルダウンになっています)

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	○
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去3回以上採択された団体ではない。	○
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。(申請者・団体概要をそれぞれ記入要)	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年3月31日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。(昨年度採択されている事業で、新しい工夫・発展性が見受けられる場合は除く)	○



<b>団体概要</b>	※記入しきれない場合、別に資料（団体パンフレット、HP等）を併せて提出してください。
<b>(1) 設立の目的</b>	2014年から任意団体で活動開始、2015年に日本初の仕事と生活の調和を活動目的とするNPO法人ワークライフバランス北陸を創設しました。
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	広く一般市民に対して、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）に関する事業を行い、その考えの普及により、個人と組織において健康で豊かな生活のための時間の確保、多様な働き方・生き方が選択できる、地域社会づくりに寄与することを目的とする。
<b>(2) 今後の目指して いききたいこと</b>	私たちの活動は4つに分類されます。 ①ワークライフバランスの普及 ②親子孫までの笑顔のリレー ③会員のマインドとスキルアップ ④ <b>まちづくり・ひとづくりの種まき</b> その他、目的達成のために必要な事業。これら4つを柱に北陸三県を中心に活動をおこなっています。
	今回は④番の「まちづくり・ひとづくりの種まき」に焦点を当てます。 「避難所をテーマ」にして、例えば（防災訓練の見直し）を集まって話し合います。 最終的にはバームクーヘンのように、コミュニケーションが活性化し、徐々にコミュニティを大きく、厚く、美味しくすることを目標にします。 私たちは、これまで蓄積したファシリテーションやコミュニケーション力を駆使し、機械にセットする（最初の小さな輪っか）のように「コミュニティの種火」を創るお手伝いをさせていただきます。
<b>活動概要</b>	以下に記入してください。
<b>(1) 主な活動履歴</b>	<2024年度 活動実績> 3/25 石川県立看護大学 社会人へのステップアップ講座 3/9 NPO法人 笑顔のリレー事業 デスCafé 12/17 北陸財務局 働き方改革推進研修 12/10 金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業 第3回「ひなんじょ体験」ゲーム 11/9 NPO法人シンママ応援団 第2回ファシリテーション研修会 10/15 石川県自治研修センター新任職員交流会02 10/10 石川県自治研修センター新任職員交流会01 10/5 NPO法人シンママ応援団 第1回ファシリテーション研修会 9/21 金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業 第2回 8/3～8/4 文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課 学校・家庭・地域連携協力推進事業 夏休みアドベンチャーワールド「君はクリアできるか!？」 7/2 金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業 第1回「SDGsとコミュニケーション」 6/16 金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業 公開プレゼンテーション 6/13 2024年度 金沢赤十字病院 新採職員研修 6/9 通常総会 4/6 2024年度 食品スーパー新入社員研修 前編 4/25 後編 3/30 北陸新幹線全線開業に向けた先導的プロジェクト推進事業 報告会 2/3 NPO法人 笑顔のリレー事業 グリーフケアCafé 1/20 北陸新幹線全線開業に向けた先導的プロジェクト推進事業
<b>(2) 得意分野・ 活躍できること</b>	○働き方改革等 各種研修 ○交流会・シンポジウム・懇談会の運営 ○地域のイベント運営
※専門的知見、連携先、アピールポイント等	○防災士（4名）・防災士（取得中・2名）が在籍 ○医療関係者・イベント業務管理者・キャリアコンサルタントが在籍
<b>HPSNSのURL</b>	

## 【4】企画内容

提案事業のテーマ	金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。 【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓ <a href="#">未来共創計画 基本方針一覧</a>
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針5_都市づくり	(5) 災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
基本方針2_暮らしづくり	(1) 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成
協働を希望する課名	金沢市危機管理課
企画のタイトル	「避難所シミュレーション0101」できっかけづくり！町会のコミュニティを活性化する試み。
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題	<p>&lt;町会の防災についての課題&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.防災訓練のマンネリ化</li> <li>2.防災意識に温度差がある</li> <li>3.自助・共助・公助の理解不足</li> </ol> <p>&lt;町会のコミュニティについての課題&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.希薄化・高齢化が進行</li> <li>2.無関心と個人主義が横行</li> <li>3.デジタル・コミュニケーションの弊害</li> </ol> <p>特にコロナによる町会コミュニティの崩壊は深刻で、そこに気づかない地域もあります。また、災害を経験していない町会は、普段からのコミュニケーションがいかに大切で、「もしもの時」に、その力を発揮するのかわかりません。</p> <p>私は町会で班長をやっていますが、町会に出てきた課題を、なんでも石川県や金沢市に頼るか、何もしないか。自分たちで解決、良くしていこうという気概が見られません。その要因の一つが、「コミュニケーション不足＝コミュニティの劣化」だと思います。この企画は、町会で防災についての話し合いをすることによって、知らず知らずのうちにコミュニケーションが活性化され、コミュニティが（かたちづくる）ことを目標とします。</p>
②ねらい・コンセプト	<p>●コンセプト-「避難所や防災」を切り口に、日本人が古来より持つ「助け合い・優しい心」を思い出し、改めて町のコミュニティの大切さを市民に実感してもらう。</p> <p>●ねらい01 ・防災や避難所のシミュレーション</p> <p>●ねらい02 ・町会内のコミュニケーションの機会提供</p> <p>●工夫する点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説/回答の根拠→スフィア基準／内閣府・避難所管理ガイドライン／防災士の経験など</li> <li>・町会によって課題は様々あります。「避難所シミュレーション0101」はカードを使います。カードの組み換えによって、上記（ねらい01・02）で落としどころをある程度コントロールすることができます。（基本的セット+予備カードを追加・組み換えができます）</li> </ul> <p>●危機管理課と協働する意義</p> <p>校下自主防災会や防災士研修会、出前講座などの入り口（アイスブレイク）として活用することで、参加者を募りやすくすること、興味関心を持ってもらうことなどに協力します。</p>
(①で記載した課題解決のために、	
・アプローチする方向性	
・工夫する点	
・協働する意義	
・市民が共感できる点 等)	

③実施内容案	<p>実施予定時期：4月～6月 テストラン 7月～本格始動 1月～2月 本年度反省会&amp;来年度の計画</p> <p>対象者：①町会の防災関係者 ②町会の班長さんなど ③子ども（来年度以降）</p> <p>参加者：毎回10名～20名程度・テーブル（島）5～6名程度</p> <p>予定場所：公民館やコミュニティスペースなど</p> <p>実施内容：避難所シミュレーション（疑似体験）+話し合い（コミュニケーション）</p> <p>広報・周知の方法：チラシDM・ラジオ出前バブ・口コミ・SNS・連長/事務局長（一本釣りなど）</p> <p>年間事業スケジュール案：下記に記載</p>
--------	--

年間スケジュール案										
事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	交流会				中間報告				成果発表会	
テストラン	4月 石川県立看護大生 5月 某企業 6月 NPO法人（2法人合同）									
本格始動		浅野町	松島町	越前市 某町会	菊川町/新神田/三和校下 清川町/並木町/カネマサ/その他					
告知 (事業チラシ・ラジオ)	チラシDM		チラシDM		チラシDM	ラジオ 出前				
修正・振り返り		○		○		○		○	○	

事業効果	※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。
------	---

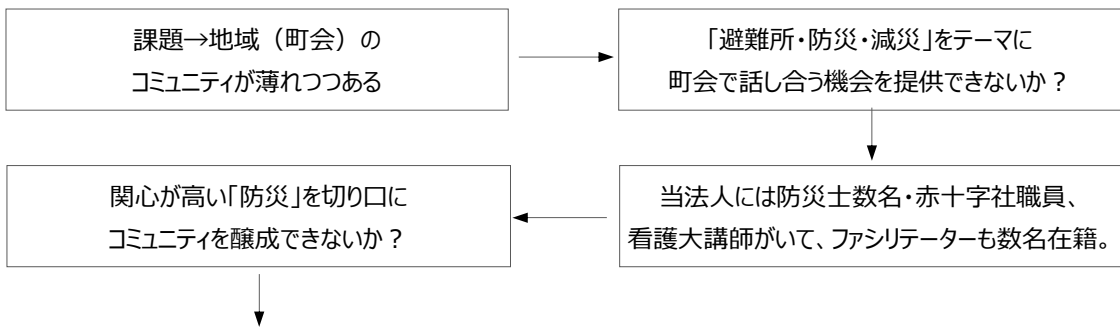
期待できる事業効果	<p>●期待できる効果01</p> <p>○防災訓練/避難訓練の見直し○避難経路のシミュレーション○自主防災組織の再検討</p> <p>○備蓄品（倉庫）の点検○避難所の運営シミュレーション</p> <p>●期待できる効果02</p> <p>○コミュニケーションの促進○コミュニティの活性化○リーダーシップ</p> <p>○ファシリテーション○チームビルディング○コンフリクトマネジメント（対立や衝突の管理）</p> <p>●協働の効果</p> <p>○アイスブレイク的に危機管理課さんの前座をすることができます。</p> <p>○防災訓練のいちコーナーとかヒントとして重宝します。（マンネリ化解消の一助）</p> <p>○期待できる効果01・02の組み合わせで、効果01が前に出たり、02の要素を強調したりします。</p> <p>○救命救急講習と避難所シミュレーション（セット）、班長会議とセット、防災訓練とセットなど町会や、町連、金沢市との協働で、防災訓練は飽き飽きしている地域住民、ゲームの要素で若い方も防災訓練に来る流れを作り、結果的に若い方が参加してくれることで町会コミュニティが活性化されます。</p>
-----------	--

その他 特記事項	<p>輪島市や七尾市にも当法人の会員がいて2024年1月1日に被災しました。この被災体験を無駄にしたいくないとの想いと、一方で昨年度、団体連携で採択され1年間活動してきましたが「町会のコミュニティ」の劣化を感じました。そんな中で、比較的集客力があつたのが「防災」をテーマにした話し合いでした。この2つの経験をもとに、オリジナルの「避難所シミュレーション0101」を開発することにしました。3年間の計画で、1年目の今年度を「創成期」、次年度を「拡大期」そして、3年目を「発展期」としてチャレンジします。その中で子どもバージョン、英語バージョン、ショートバージョンなど改訂版を制作予定です。活動範囲は北陸三県、全国も視野に入れています。</p> <p>また、危機管理課さんの出前講座に対応可能な「出前バージョン」も作ります。</p> <p>以上のような活動を通して、「災害に強いまちづくり・コミュニティに関心を持つひとづくり」の種まきをしていきたいと思ひます。</p> <p>※ちなみに0101は「1月1日」を風化させないために付けました。</p>
----------	--

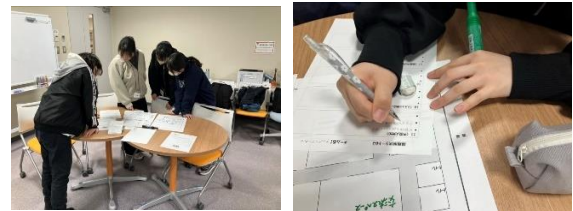
1. どうしてワークライフバランス北陸が防災の事業をするの？

NPO法人  
ワークライフバランス北陸  
活動範囲

- 1.ワークライフバランスの普及
- 2.笑顔のリレー
- 3.会員のスキルアップ
- 4.まちづくり・ひとづくり 4番の活動に焦点を当てます



町会で避難所シミュレーション



2. シミュレーション・ゲームのながれ

- ゲームの目的（NPO法人として）
- 過去の避難所写真
- ゲームの説明
- 役割決め（リーダー・書記）
- 体験ゲーム「避難所シミュレーション0101」
- 課題を解いていく
  - A 話し合い→課題解決シートに記入
  - B 話し合い→平面図に書き込み
- シェアタイム-解説-振り返り①②-チーム発表
- まとめ
- ※解答→スフィア基準／内閣府・避難所管理ガイドラインなど
- ※90分～120分

- A 話し合い→用紙に書く
- B 平面図に書き込み

<課題カード・見本>

<p>〈食糧の管理/分配〉 05</p> <p>水や食料などの救援物資がたくさん届きました。保管場所と配布ルールを考えてください。</p>	<p>〈給水車〉 06</p> <p>給水車2台が到着しました。設置場所を伝える必要があります。給水車の場所を決めてください。</p>
---	---

課題カード（抜粋）

- <視覚障害者>視覚障害を持つ人が避難してきました。何に配慮したらよいでしょうか？
- <受付/掲示板の活用>日々たくさんの情報が行き交うため、掲示板にはどのような情報があるとよいでしょうか。
- <仮設トイレ>避難者数200人（女性150/男性50）に対し最低限何台必要？設置場所は？
- <外国人対応>避難している外国人が言葉がわからず困っています。コミュニケーションを取るには、どうしたらよいでしょうか？
- <更衣室>着替える場所が欲しい。更衣室の場所を確保してください。
- <マスコミ対応>突然テレビ局の取材班が来ました。どのような対応をしたらよいでしょうか？



## &lt;事業の特徴&gt;

## ① 公益性

- ・避難所や備えなど防災関連は町会（市民）の共感を期待できる。昨年度の教訓から。
- ・防災関連のテーマで集まり、顔見知りになったり、挨拶のきっかけになったりという副次的効果がある。

## ② 実現性

- ・テストランの最低3回実施 & 修正して本格始動に入る。
- ・スケジュールはある程度見通しがたち、実施が決定しているもの、交渉中がある。その都度、修正をして効果を高める。
- ・防災士、受験中、が在籍している。解説、回答はスフィア基準 / 内閣府・避難所管理・日赤ガイドラインなど。

## ③ 発展性

- ・初年度は町会でスタートし、2年目以降バージョンや範囲などで拡大を図る。
- ・避難所シミュレーション+〇〇で集客。シミュレーション単体でもOKだけど、S+救命救急とか、S+班長会議+など。

## ④ 創造性

- ・防災/避難所だけの「ねらい01」だけではなく、「ねらい02」で違う角度でもリカレント（学び直し）につながる。
- ・被災体験を語れるメンバーが数名いる。金沢市内では経験できない、知らないことを、「備え」としてレクチャーできる。

## ⑤ 協働性

- ・一部の町会長、連長を核とし、危機管理課、松島地区企業振興協議会、ほか企業数社とつながりがある。
- ・集客、実施、インフォメーション、次回告知など、上記でやるときは役割分担が自然と決まっている。

## ⑥ 費用対効果

- ・開発費用は弊社負担なので事業自体は安価でできる。
- ・運営実施費をチャレンジ事業として補助いただきたいと思えます。

## &lt;テストランの風景&gt; 04/22（火）10:00～12:00 石川県立看護大学・図書室内研修室

